

IBM PowerHA SystemMirror for AIX
Enterprise Edition
バージョン 7.2.1

リリース・ノート



IBM PowerHA SystemMirror for AIX
Enterprise Edition
バージョン 7.2.1

リリース・ノート



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、9 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM PowerHA SystemMirror for AIX
Enterprise Edition
Version 7.2.1
Release Notes
First edition (October 2016)

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2016.

目次

本書について	v	商標	11
強調表示	v		
AIX でのケース・センシティブ	v		
ISO 9000	v		
PowerHA SystemMirror 7.2.1 Enterprise Edition 複製テクノロジー	1		
ソフトウェア要件	3		
インストールおよび移行	5		
追加情報	7		
特記事項	9		
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項	11		

本書について

「リリース・ノート」の各トピックには、他のトピックに記載されていない最新の技術情報が含まれています。また、PowerHA® SystemMirror® バージョン 7.2.1 ライセンス・プログラムの新機能が強調して説明されています。

強調表示

本書では、以下の強調表示規則を使用します。

太字	システムによって名前が事前に定義されているコマンド、サブルーチン、キーワード、ファイル、構造、ディレクトリー、およびその他の項目を示します。さらに太字の強調表示は、ユーザーが選択するボタン、ラベル、およびアイコンなどのグラフィカル・オブジェクトも示します。
イタリック	ユーザーが入力する実際の名前または値のパラメーターを示します。
モノスペース	具体的なデータ値の例、表示される可能性があるテキストの例、プログラマーとして作成する可能性があるものに似たプログラム・コードの一部の例、システムからのメッセージ、またはユーザーが入力しなければならないテキストを示します。

AIX でのケース・センシティブ

AIX® オペレーティング・システムでは、すべてケース・センシティブとなっています。これは、英大文字と小文字を区別するという意味です。例えば、**ls** コマンドを使用するとファイルをリストできます。LS と入力すると、システムはそのコマンドが「is not found」と応答します。同様に、**FILEA**、**FiLea**、および **filea** は、同じディレクトリーにある場合でも、3 つの異なるファイル名です。予期しない処理が行されないように、常に正しい大/小文字を使用するようにしてください。

ISO 9000

当製品の開発および製造には、ISO 9000 登録品質システムが使用されました。

PowerHA SystemMirror 7.2.1 Enterprise Edition 複製テクノロジー

PowerHA SystemMirror 7.2.1 Enterprise Edition では、以下のソフトウェアおよびハードウェアの複製テクノロジーがサポートされています。

- 地理的論理ボリューム・マネージャー (GLVM)
- DS8000® PPRC (メトロ・ミラーおよびグローバル・ミラー)
- SVC
- EMC SRDF
- Hitachi Truecopy/HUR
- XIV® リモート・ミラー
- HyperSwap®

ソフトウェア要件

PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 をインストールする前に、入手できる AIX および PowerHA SystemMirror のサービス・パックをすべて IBM® Fix Central Web サイトからインストールする必要があります。

PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 は、以下のバージョンの AIX オペレーティング・システムでサポートされています。

- IBM AIX 7 (テクノロジー・レベル 3 適用) (サービス・パック 7 以降が適用済み) ¹
- IBM AIX 7 (テクノロジー・レベル 4 適用) (サービス・パック 2 以降が適用済み) ²
- IBM AIX バージョン 7.2 (サービス・パック 2 以降が適用済み)
- IBM AIX 7.2 (テクノロジー・レベル 1 適用) (サービス・パック 1 以降が適用済み)

注:

¹ rootvg モニターの有効化に使用される、Automatic Repository Disk Replacement (ARR) 機能、AIX Live Update 機能、および Logical Volume Manager (LVM) オプションは、このバージョンの AIX オペレーティング・システムでは使用できません。

² AIX Live Update 機能は、このバージョンの AIX オペレーティング・システムでは使用できません。

インストールおよび移行

PowerHA SystemMirror バージョン 6.1 から PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 には移行できません。最初に PowerHA SystemMirror バージョン 6.1 から PowerHA SystemMirror バージョン 7.2 に移行する必要があります。移行について詳しくは、『[Migrating from PowerHA SystemMirror 6.1 to PowerHA SystemMirror 7.1, or later](#)』トピックを参照してください。

スナップショットを使用した PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 の更新について詳しくは、『[Upgrading PowerHA SystemMirror using a snapshot](#)』トピックを参照してください。

オフライン・クラスターの更新について詳しくは、『[Upgrading an offline cluster for PowerHA SystemMirror](#)』トピックを参照してください。

漸次移行について詳しくは、『[Performing a rolling migration](#)』トピックを参照してください。

追加情報

デフォルト設定

PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 で多くの AIX 固有の検査が日次検査に追加されました。以前のバージョンの PowerHA SystemMirror では、その日次検査はデフォルトで無効になっていました。しかし、PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 では、その検査はデフォルトで有効になっています。その検査は、SMIT インターフェースの「詳細検査」フィールドに表示されます。このフィールドを表示するには、「ユーザー定義クラスター構成」 > 「クラスター構成の検証と同期化 (拡張)」を選択し、Enter を押します。

PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.0 では、ROHA は SMIT の「リソースが不十分であっても、リソース・グループを開始」フィールドをサポートしていました。このフィールドは、要求されたリソースの合計が、LPAR プロファイルの最大値、または使用可能なリソースを結合した値を超えるときに、リソースを開始するかどうかを決定するフィールドです。「リソースが不十分であっても、リソース・グループを開始」フィールドのデフォルト値は「いいえ」です。PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 では、「リソースが不十分であっても、リソース・グループを開始」フィールドは「常にリソース・グループを開始」フィールドに置き換えられました。「常にリソース・グループを開始」フィールドと「リソースが不十分であっても、リソース・グループを開始」フィールドの機能は同じですが、デフォルト値は「はい」に変更されています。SMIT インターフェースにあるこの「常にリソース・グループを開始」フィールドを表示するには、「クラスター・アプリケーションおよびリソース」 > 「リソース」 > 「ユーザー・アプリケーションの構成 (スクリプトおよびモニター)」 > 「リソース最適化高可用性 (Resource Optimized High Availability)」 > 「デフォルト・クラスター調整値の変更/表示」を選択し、Enter を押します。「常にリソース・グループを開始」フィールドについて詳しくは、『Changing the default cluster tunables』トピックを参照してください。

PowerHA SystemMirror グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI)

PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 メディア上にあるファイルセットをインストールしたら、**smuiinst.ksh** コマンドを実行してインストール・プロセスを完了する必要があります。**smuiinst.ksh** コマンドは、PowerHA SystemMirror GUI インストール・プロセスの完了に必要な残りのファイルを自動的にダウンロードしてインストールします。このようなダウンロード対象ファイルは General Public License (GPL) の下でライセンスされているため上記ファイルセットには同梱されていません。

資料

資料に適用された最新の更新を確認するには、『What's new in PowerHA SystemMirror』トピックを参照してください。

インターネット接続がない場合に資料を参照したいのであれば、Windows 7、Windows 8、または Windows 10 が稼働するコンピューター上に PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 の IBM Knowledge Center をインストールできます。PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 の IBM Knowledge Center のインストール・ファイルは「My Entitled Systems Support」Web サイトからダウンロードできます。

最新版のリリース・ノートを表示するには、『PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 release notes』トピックを参照してください。

資料を PDF ファイルで表示するには、『PowerHA SystemMirror バージョン 7.2.1 PDFs』トピックを参照してください。

マニュアル・ページ

PowerHA SystemMirror コマンドのマニュアル・ページは `cluster.man.en_US.es.data` ファイルセット内に提供されています。このファイルセットは `/usr/share/man/cat1` ディレクトリーにインストールされています。マニュアル・ページを表示するには、コマンド・ラインから `man command_name` と入力します (`command_name` はコマンドの名前です)。

clmgr コマンドを使用すれば、大半の PowerHA SystemMirror 操作を実行することができます。**clmgr** コマンドを使用することで実行できる操作について詳しくは、『`clmgr` command: Quick reference』トピックを参照してください。

特記事項

本書は米国が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing

IBM Corporation

North Castle Drive, MD-NC119

Armonk, NY 10504-1785

US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、名前や住所が類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年).

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

© Copyright IBM Corp. _年を入れる_.

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。



Printed in Japan